

# 視聴覚教育

NO. 403

発行日

26. 6. 30

発行

岡崎市 A V L

編集

現職研修委員会

学習情報部

## これ知ってる!?

### 「タップ」

タブレットPCのタッチパネルを1本の指で押す(さわる)操作方法を『タップ』と言います。タッチパネルに表示される機能やボタンを選択・実行するための操作になります。タップを2回連続で行う場合は『ダブルタップ』といいます。

## 視聴覚教育あれこれ

### ●第10回「育て！プリントコミュニケーション」

#### コンクールの結果

第10回「育て！プリントコミュニケーション」コンクール(主催・理想教育財団)に今年も市内の先生方がたくさん応募されました。入選されたのは次の方々です。おめでとうございます。

(学校名は平成25年度勤務校)

#### 【部門別優良賞】

浅井 優子(三島小)

#### 【新人賞】

三浦 祐揮(三島小)

#### 【第10回記念賞】

藤田 宏(城南小)

#### 【佳作】

青山 絢香(六中小)

藤田 宏(城南小)

岩瀬 広子(広幡小)

高木 理人(本宿小)



### ●パナソニック教育財団による実践研究助成

「実践研究助成」は、視聴覚・情報通信メディアを効果的に活用し、教育課題の改善に取り組む実践的な研究計画について助成されるものです。今年度の岡崎市における実践研究助成先は次のとおりです。

#### 【一般研究助成】

##### 大門小学校

地域と結びついた映像制作で養う批判的理解力

##### 新香山中学校 ESD 研究部

ESD 最終年における、

持続可能な社会の担い手の育成

## 授業を共創する

学習情報指導員 村田 貴志

「二〇一一年に小学校に入学した子供の六十五%は、今はまだ存在しない職業に就く」と言うニューヨークタイムズ紙の記事が話題になっている。これは、米国の研究者であるキャシー・デビッドソン氏が、インタビューで語った予測である。きつと二十一世紀は、我々の予測を超えた時代となるであろう。だからこそ教師は、授業を通して、二十一世紀を生き抜くスキルを、目の前の子供たちに育んでいかねばならない。

先日中学校を訪問した折、植物を単子葉類と双子葉類に分類する授業を参観した。授業者は、一人の生徒が採取してきた植物に注目し、この植物の分類を学級全体の課題とした。しかし、植物は一本しかない。そこで教師は、その植物の画像をタブレットPCで撮影し、クラウド上にアップロードした。生徒たちは、グループごとに配付されたタブレットPCを使って、教師が提示した画像をダウンロードし、その植物が単子葉類なのか双子葉類なのか意見を出し合った。タブレットPCに表示された鮮明な写真は、虫眼鏡を使わなくとも、指の間を広げるピンチアウトの操作だけで、細かいところまで確認できる。生徒たちは「葉脈の走り方」や「葉の形」

と、グループごとの視点から、仲間と協力して、課題解決に取り組んだ。仲間が持つてきた植物を瞬時に共有し、皆で一つの問題として向かい合う。この授業では、タブレットPCの活用よって、生徒同士の間で自然に学び合う雰囲気が生まれた。画面にむかい顔を近づけあつて話し合う姿に、協働的な授業を見た思いがしたのである。

本年度岡崎市では、全中学校に二十台六十台のタブレットPCを整備し、授業での効果的な活用法の研究を進める。誰もが初めての経験で、「どう使えばよいのか」という不安がぬぐい去れないのは当然のことであろう。しかし、悩み、考えていく過程の先には、新しい授業の可能性が待っているとも言える。子供たちの学びを深めるために、新たな一歩を踏み出すことが大切である。

十月二十二日には葵中学校が、「学び合い・磨き合いを軸にした思考力・判断力・表現力の育成」を目指して研究発表を行う。新しい授業を創造する授業者の苦労は大きいと思うが、ここで見られる一つ一つの授業は、確実に私たちに大きな示唆を与えてくれるだろう。先導される先生方の授業を参考にして、児童生徒が主体となる授業を共創していきたい。

## II 実践報告 II

### 低学年におけるパソコン室利用の指導

宮崎小学校 岩瀬 富雄

小学校低学年のうちから、集団で生活するための約束をしっかりと教えることは大切なことである。今回は、パソコン室利用の約束について指導しようと考え、道徳二時間十学級活動一時間の計三時間完了で実践を試みた。

第一時の道徳では「規則の尊重・公德心」をねらいとし、「くろぶたのしっぽい」「あかるいころ二年生」を題材にした。



授業では「主人公が大切にできなかった約束やきまりは何か」について話し合った。子供たちは、主人公の心情を考えながら、約束やきまりの存在を意識することができた。

第二時の道徳では「やくそくやきまりをまもつて」「わたしたちの道徳小学校一・二年生」を題材にした。資料に描かれた人たちが笑顔で生活しているわけを考えさせ、「きまりを守ることの良さ」を振り返らせた。また、教室、図書室など、子供たちにとって身近な学校のきまりについて確認し、約束やきまりについて自分の考えを発表し合った。そして、「ルールやマナーを守る」(出典「事例で学ぶNetモラル」)を利用し、パソコン室でのきまりやマナーを確認した。

第三時の学級活動では、実際にルールを守ってパソコン室を使う体験をさせた。パソコン室に着くと、子供たちは「中では静かにしようね。先生の話がよく聞こえるよ」などと話していた。道徳や特活の授業と関わらせることで、「パソコン室では、きまりを守るとみんなが楽しく過ごせる」という気持ちを子供たちに持たせることができた。

## II レッツ・トライ II

### 「タブレットPCを活用した英語科の学習」

タブレットPCを使う利点の一つは、生徒個々の段階に合わせた学習ができるということである。特に音読や暗唱の練習に有効である。

葵中学校の英語科の授業では、発音や音読の練習でタブレットPCが使われている。クラス全体で発音の練習を行った後、生徒はタブレットPCで、デジタル教科書を使って自分のペースでモデル発音を聞きながら練習する。英語が得意な生徒は暗唱の練習に取り組み、苦手な生徒は同じ文を何度も繰り返し練習する。

三年生では、一人に一台ずつタブレットPCを配付し、音読、暗唱の練習を行った。生徒にイヤホンを持参させ、個別学習の環境を整えることで、集中して練習に取り組む姿が見られた。

一年生では二人に一台を配付し、ペア学習を行った。生徒同士が自分たちで苦手な部分を話し合い、学習ポイントを決めて暗唱の練習をする姿が見られた。ペア学習の様子を見てみると、中には二人とも発音が分からず、困っている場面を見かけることがある。そのような場合には、「タブレットPCで正しい発音を確認してごらん」と声をかける。すると、すぐにタブレットPCで正しい発音を聞き、練習を再び続けることができた。

「分からなくてもすぐ確認できるから安心する」とは、生徒の言葉である。今後も研究を重ね、生徒の英語力を向上できる活用法を探りたい。



(葵中学校 学習情報主任 岩川皓司)

## ライブライブラリーだよ

### ●平成26年度「親子映画会」のお知らせ

〈上映日と会場〉

- ・ 7月20日(日) 大平市民センター
- ・ 7月27日(日) 矢作市民センター
- ・ 8月3日(日) 六ツ美市民センター 中央市民センター
- ・ 8月17日(日) 東部市民センター ぬかた会館
- ・ 岩津市民センター
- ・ 南部市民センター(シビックセンター内)

〈上映時間〉

- ・ 午前の部 10時～11時30分
- ・ 午後の部 13時30分～15時

〈上映映画〉

- ・ 忍たま乱太郎(よいと思うことをおこなう)
- ・ ちびまる子ちゃん(まる子たち一年生の世話をやく)
- ・ よつちゃんの不思議なクレヨン
- ・ かばのポトマス
- ・ かんすけさんとふしぎな自転車
- ・ ぼくは王さま

※右の中の三作品を上映します。

### ●「ビデオ講習会」のお知らせ

〈日程〉 7月26日(土) 9時～16時30分

〈場所〉 福祉会館6F

〈内容〉 ビデオカメラでの基本的な撮影実習、撮影した素材の編集実習など

※詳しくは岡崎市視聴覚ライブラリー

(電話23-6789)まで

